

講義名	研究演習（商・人）		
講義コード	45201	授業形態	
担当教員	山川 拓也	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 5時限
		ハンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
人間社会学部 / 商学部	観光商品・旅行業ビジネス・地域創生のマーケティング

概要説明

「観光商品・旅行業ビジネス・地域創生マーケティング」をテーマに、さまざまなプロジェクト型のアクティブラーニングを複数同時進行で展開し、理論学習だけではなく「実践を通じての学び」を深めます。具体的には、外部団体主催の「海外旅行商品企画コンテスト」への取り組みや、観光や地域創生に関わる企業等との共創コラボレーションの実施などになります。なかでも基幹のプロジェクトについては、2年後期から4年までのチームでPDCAサイクルを回しながら、反復的・継続的に取り組んでいきます。それにより、プロジェクト成果の質の向上を図ると同時に、取り組みを通して、常に過去の自分を越えることを目指します。

本演習では「経験主義」を強く推進したいと考えています。そのため、通常のゼミの時間外（例えば週末や長期休暇中）に学外活動を実施することも多くなります（当該プロジェクトに関わる学生は原則全員参加）。その際の費用（交通費や参加費、行先によっては宿泊費）については、可能な限りの負担軽減のための努力をしますが、基本的に学生個人の対応の負担が発生することになります。

<参考>【山川ゼミの受賞実績（団体・個人）】

2019年に第一期の演習を開講して以降、たゆまぬ努力の結果として、数多くの目に見える成果をあげています。これらは学生の自信につながっており、ゼミでの精力的な学修を通じ、それぞれが自己選択と自己決定による「将来の自分の道路」を確実に切り拓いてくれています。

- <2020年>
- ・第11回 開空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト 準グランプリ
- <2021年>
- ・第12回 開空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト 準グランプリ
- ・人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ 近畿地区大会 最優秀賞
- <2022年>
- ・第13回 開空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト 優秀賞
- ・兵庫県加東市との域学連携による地域活性化策提案コンペ 最優秀賞&商工会長賞
- <2023年>
- ・第14回 開空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト 準グランプリ & 優秀賞
- <2024年>
- ・人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ 全国決勝大会 社会人基礎力大賞
- ・第15回 開空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト 準グランプリ & 優秀賞
- ・日米観光交流年2024 アメリカ旅行企画コンテスト 審査員特別賞
- <2025年>
- ・「ひめじ観光ビジネスコンテスト」 最優秀賞

主な卒業論文のタイトル

- 【2025年度】
- ・大学生の中期滞在型地域体験を通じた関係人口創出 『コトヒラコネクト(コトコト)プロジェクト』における参与観察と分析
 - ・観光・旅行業における関係人口創出の可能性に関する研究 滞在型プロジェクトの実践を通して

- 【2021年度】
- ・観光商品開発における価値創造に関する研究-メタ観光とスマートツーリズムの視点を用いて-

- 【2016年度-2018年度】（前任校での論文指導の例）
- ・観光でのスペースシェアリングと異文化交流の関係についての研究
 - ・訪日外国人旅行者の旅行態度とその認識に関する研究
 - ・広島県のインバウンド観光活性化に関する研究
 - ・空港業務におけるサービスの機械化に関する研究：羽田空港と「変なホテル」を事例に
 - ・出雲大社観光の光と影：地域におけるホストとゲストの関係性に着目して
 - ・中山間地域における地域振興施策の課題：「ひろしまさとやま未来博2017」から考える効果的な地域振興施策とは
 - ・東京ディズニーリゾートの顧客満足（CS）に関する研究：企業と顧客における価値共創の視点から
 - ・ファンツーリズムに関する研究：広島における新しい観光の創造
 - ・オタクの「コト消費」マーケティングに関する研究
 - ・伝統的郷土芸能である「神楽」の伝承に関する研究：後継者不足問題と団員の心理との関係性

教員からの要望

ゼミ運営に際しては、【楽しく真面目に研究する、真面目に楽しく研究する】を基本のポリシーとしています。この「楽しい」は、演習そのものやプロジェクトへの取り組み、あるいは知識等の吸収に対し、真面目・ま真直になることにより創り出されるものです。これを土台としたうえで、より専門的な学びを深めることと合わせて、将来において絶対的に必要とされる「社会人基礎力」（考え抜く力・他者と働く力・前に踏み出す力）も育てていきたいと考えています。この考え・想い・方針について、教員と学生間での「共有されるべき価値」として意識・理解されることを強く望みます。

選考方法

選考方法は、申込書と成績通知表および個人面接による総合判断とします。個人面接では、素直さ/前向き度/向上心/責任感/感謝報恩/思いやり/一生懸命/明朗快活/ビジネスマナーの観点と尺度から、演習の活動に支障がないかを確認します。

【選考にあたって】

- ・本演習の学修内容は、担当教員が担当する他授業（講義科目）の内容と密接に関係しています。担当教員の授業については、学部学科を問わず、基本的に全ての科目を履修していただきます。

・5月中旬に実施されるブース式ガイダンスへの参加ならびに教員との事前面談をもとに、演習内容を十分に理解してから希望を出すようにしてください。（詳細については、教務部より別途案内予定）

評価方法
ゼミ運営方針の理解・実行、取り組み姿勢（積極度、協力度、貢献度、参加態度）、スケジュール・マネジメント（出席、遅刻、早退、期限等）、研究課題の内容（各種ワーク、成果物、発表・プレゼン等）をもとにして、学期末に総合的な評価を判定します。

到達目標・成果物

ゼミ所属学生に対しては、演習テーマに沿ったプロジェクトに対する高いレベルでの取り組みを求めるとともに、以下の成果物の提出を要求します。

研究演習：プロジェクトワークに基づく企画書ならびにプレゼンテーション資料等（グループで作成）
研究演習：プロジェクトワークに基づく企画書ならびにプレゼンテーション資料等（グループで作成）
研究演習：プロジェクトワークに基づく企画書等および卒業研究としての個人レポート 5000字（日本語・英語）
卒業論文：プロジェクトワークに基づく卒業研究のフルペーパー論文 20000字（日本語・英語）*個人で作成

*個人レポート/フルペーパー論文を英語で執筆する場合は、それぞれを2000words/8000wordsとします。

教員英字氏名	研究室
Takuya YAMAKAWA	研究棟 5418

最終学歴

大阪府立大学大学院経済学研究科 経済学専攻 観光・地域創造分野 博士後期課程修了

学位

博士（経済学）（大阪府立大学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

【研究テーマ】「観光の現代的消費構造と市場形成」、「観光における意味的価値の消費」、「観光経験としての『生活文化体験』の商品化」、「ローカル体験としての旅行・観光」をベースとする観光商品開発や地域マーケティングの戦略、コミュニティ・ペースド・ツーリズム(CBT)等に関心を寄せています。

【学位論文】
山川拓也(2018)「団体ヨーロッパツアー造成に関する研究 異文化間インテグレーターとしての添乗員機能の分析」大阪府立大学,博士(経済学),甲第1843号

【主な査読付き論文】
山川拓也(2015)「海外旅行における文化的価値を基盤とする旅行業の再定義化 旅行会社の商品マーケティング戦略における文化論的視点」『日本国際観光学会論文集』22,pp.97-102
崔敬波・山川拓也(2016)「新しい観光のコンセプト-韓国における公正旅行と訪日観光」、『日本国際観光学会論文集』23,pp.91-99
山川拓也・中尾公(2021)「地域住民と外国人宿泊客を結びつけるゲストハウス 媒介・仲介機能とCOVID-19の影響の分析」『観光研究』32(2),pp.81-93
山川拓也(2023)「『イミ消費』を意図した観光ツアー商品の企画開発に関する分析と考察 広島市内におけるsokoiko1の事業者インタビューと参加者事後レビューから見えるもの」『観光マネジメント・レビュー』(3),pp.62-78
山川拓也・中尾公(2025)「地域密着型教育旅行の価値共創 S-Dロジック分析による使用価値と文脈価値の析出の試み」『観光マネジメント・レビュー』(5),pp.3-19

趣味・特技

上質な美味しい食事と酒を楽しむこと、サウナ、海外旅行、弓道

所属

人間社会学部 観光学科

所属学会

日本観光研究会、日本観光経営学会、日本商業学会、日本マーケティング学会、地域デザイン学会、日本感性工学会

専門分野

観光経済学、観光マクロマーケティング、観光消費文化論、コミュニティツーリズム

担当科目

観光文化論、観光地理学、観光施設計画論、旅行事業経営論、観光社会学、専門基礎演習(人)、研究演習、卒業研究

備考

【卒業生の主な進路（就職先・内定先）】

観光・ホスピタリティ関連業種では、旅行業だけに限らず、鉄道会社/ホテル/空港(貨物)/船舶(フェリー)/テーマパークの各企業への内定・就職者(日本人・留学生)がいます。その他では、金融(地方銀行)/医療/福祉/販売(自動車・サービス)/流通(スーパーマーケット)/不動産/専門メーカー(食品・医薬・理化学)等、多岐にわたる業界の内定・就職者(日本人・留学生)がいます。また、大学院進学者(和歌山大学大学院観光学研究科)もいます。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
旅行業ならびに旅行サービス手配業での実務経験(欧州を中心とする海外団体旅行の企画造成、営業、添乗、海外駐在、市場戦略などのマーケティング)を活かし、旅行・観光の商品化に関する思考を深化させ、実践的な指導をおこなう。